



JSAF

一般財団法人 JSAF
Global Academic Education

留学体験記

ハートウィックカレッジでの留学生活

JSAF 2024 年春・夏派遣 最終留学レポートより

「違う国の人でも仲良くしてくれる人がいて、日本人の友人と同じように一緒に過ごせることが分かって嬉しかったです。」

派遣先大学	ハートウィックカレッジ(Hartwick College／アメリカ・ニューヨーク州オニオンタ)
在籍大学	青山学院大学 総合文化政策学部 総合文化政策学科 3 年
留学形態	認定校留学
派遣期間	2024 年春・夏派遣(2024 年 12 月レポート提出)

※本体験記は派遣生の最終留学レポートをもとに読みやすく再構成したものです。個人情報保護のため、氏名・学籍番号等は省略しています。

1. 留学の目的と、その達成

留学の目的： 自分の世界を広げるため。

目的は達成された？： 達成されました。留学を通して、違う国の人とも日本人の友人と同じように仲良く過ごせることが分かり、とても嬉しかったです。

2. 授業と学び

学部授業を4科目履修しました。いずれも少人数のレクチャー形式です(成績はレポート提出時点では未発表)。

科目(コース番号)	単位	形式	内容と感想
College Writing(ENGL-110)	3	レクチャー	英語でエッセイを書く手法を学ぶ授業。評価は定期的なライティング課題・最終レポート・出席。エッセイの書き方とは関係のない Podcast の分析課題などもあり、何のためにやっているのか悩むこともありました。
It's a TikTok World(GLST-250)	3	レクチャー	ソーシャルメディアの仕組みや現代社会での役割、今後の課題を学ぶ授業。評価は毎回の授業前のディスカッション課題・中間レポート2本・最終課題・出席。身近な SNS で起きた事例を分析していて面白く、課題は多くて大変でしたが、リーディング課題に基づいて自分の意見を述べる機会が多く、ためになりました。
US History I: Colonization to(HIST-123)	3	レクチャー	アメリカの歴史や独立運動などを学ぶ授業。評価はクイズ・出席・中間テスト・期末テスト。アメリカ史の前提知識がなかったため、理解するのに苦労しました。
International Relations (POSC-105)	3	レクチャー	世界で起きている紛争やテロにはどんな原因が考えられるかを学ぶ授業。評価は出席・中間テスト・期末テスト・ディベート。内容は面白かったものの、専門的な単語が多い点は苦労しました。

■ ■特にがんばった課題

エッセイ(It's a TikTok World): 「TikTok 上のコミュニティがどのように機能しているか」をテーマにした Reflection ペーパー。複数の参考文献を踏まえた上で自分の意見を述べる必要がありましたが、参考文献の内容がすでに納得できるものだったため、そこからさらに自分の考えを発展させるのが大変でした。書く内容を定めることに苦労した分、とても良い評価をもらえて達成感がありました。

プレゼンテーション(International Relations): 時事問題を扱う「current event presentation」で、台湾とアメリカの関係性について発表しました。授業の内容とプレゼンの内容を踏まえた問いを立てることに苦労しましたが、自分が投げかけた問いに対して他の学生が真剣に答えてくれたことが嬉しかったです。

■ ■日本の授業との違い

- クラスが少人数で、先生から意見を求められるとすぐに何人も手を挙げて発言するところが日本の大学とは違うと感じました。
- 先生との距離も近く、授業終わりに気軽に質問しやすい雰囲気でした。

3. 英語力の伸びと工夫

英語力は伸びていると感じます。特にリスニングとスピーキングです。留学当初は、しゃべり方のクセが強い先生の英語が聞き取りづらく授業を理解するのが大変でしたが、普通に聞き取れるようになりました。また、以前は頭の中で日本語を英語に変換してから口に出していましたが、自然に英語が口から出ることが多くなりました。

■ ■スキル別・苦労した点と工夫した点

スキル	苦労した点	工夫した点
リスニング	人によってアクセントや話すスピードが違い、聞き慣れた「綺麗な英語」とは違うため聞き取れないことがあった。	一緒に過ごす時間を増やして、耳が慣れるようにした。
スピーキング	言いたいことをどう言えば良いのか、適切な表現がすぐに出てこなかった。	現地の学生がよく使っている文法や表現を真似して、自分でも使えるようにした。
リーディング	教科書は学術的な単語が多く、普段触れていないため毎回意味を調べないと分からなかった。	教科書にメモをしながら、定期的に振り返って意味を覚えるようにした。
ライティング	英語でレポートを書く際のフォーマットを知らなかった。	先生に書き方を教えてもらった。

■ ■日々の工夫

- 英語で上手く伝えられなかったことは、後からどのような表現をすべきか調べて、自分でも使えるように復習しました。
- 「この人の英語は聞き取りづらいな」と思っても、諦めずに聞く努力をしました。
- 渡航前には、色々なアクセントの英語に触れておくのがおすすめです。綺麗なアメリカ英語を話す人だけではないためです。

4. キャンパスライフ

■ ■キャンパスと街の様子

- 自然豊かで、学生数が少なくコミュニティが小さい大学です。授業も少人数で行われるため教室は小さめ。階段が多く、どこに行くにも昇り降りがあります。
- 大学のあるオニオンタは小さくて平和な街で、治安はキャンパス内外ともに良いです。ダウンタウンまでは徒歩 20 分。おすすめスポットは Latte Lounge です。ただし、車がないと不便なこともあります。
- 初日のオリエンテーションは分かりやすかったです。

■ ■寮と食事

寮は 1 人部屋で、近くの部屋の人とはトイレで会ったときに挨拶を交わす程度でした。食事は大学の食堂とカフェを利用できます。日本食はなく、同じようなメニューがローテーションで出てくるので、口に合わないものが多い日は栄養バランスが偏ってしまうこともありました。

■ ■ある 1 週間のスケジュール

区分	過ごし方
平日	授業に行き、放課後は課題をしたりクラブのミーティングに参加したりします。
休日	部屋で一人で過ごすことも、友達と出かけることもあります。

■ ■交友関係と息抜き

- 現地の学生: 留学生サポーター、学内イベントや授業で仲良くなった人、同じ寮の人が各 5 人ずつくらい。
- 他の国からの留学生: カザフスタン、ネパール、ナミビア、ミャンマーからの留学生と交流が多いです。
- 日本人: 自分を含め 5 人で、一緒にご飯を食べることが多いです。
- 学期の途中には、イベントを通して知り合った学生とも仲が深まり、家に呼んでもらったりもしました。
- 一番の息抜きは、キャンパス内を散歩することと寝ることです。
- 日本の家族とは週 1 回程度、写真を送り合ったり連絡を取り合ったりしました。友人とは月に数回、誕生日を祝ったりテレビ電話をしたりしました。

■ ■あると便利なもの

ノートパソコンは毎日使いました。授業のノートテイク、課題、リサーチのほか、日本の企業とのオンライン面接にも活躍しました。

5. 課外活動と旅行

■ ■クラブ活動

Asian culture club、International club、Latino Unidos Association に参加しました。特に Asian culture club は、親日の現地学生も多く参加していて、イベントで日本の文化体験の運営にも関わられるのでおすすめです。

■ ■休暇の過ごし方と一番の思い出

休み中は課題を消化したり、友達とダウンタウンや Walmart に買い物に行ったりして過ごしました。

一番の思い出は、October break(10 月の休暇)にニューヨークシティへ旅行したことです。ニューヨークシティに住んでいる友達と一緒に観光し、友達のご両親が車で送迎をしてくれたおかげで、夜も安全にホテルに戻ることができました。

■ ■大変だったこと

バスの運行スケジュールが分からず、Walmart に買い物に行くために 1 時間歩いたことです。

6. 費用と持ち物の目安

JSAF 留学プログラム費以外にかかった費用の目安です(レポート記載時点)。

項目	金額・備考
国際航空券代(往復)	42 万円
現地での旅行費用	約 10 万円
個人的な諸費用(こづかい・買物代など)	合計 約 40 万円
生活費(月のお小遣い)	月 2 万~10 万円
携帯電話料金	約 8,000 円/月
教材費(学部)	4 万円
ヘルスセンター使用料	無料

■ ■持ち物のヒント

日本から持ってくれば良かった物: 除菌シート。

到着後すぐに購入が必要だった物: 寝具、シャンプーやボディソープ、ゴミ袋、箱ティッシュ、部屋の掃除道具、洗剤、バスローブ、シャワーシューズ。

防寒対策: 厚手のダウンがおすすめ。薄手のダウンを持って行きましたが、寒くて現地で買い直しました。

7. 留学を終えて

■ ■成長を感じる点

- 自分で考えて対処する力がつきました。

■ ■イメージの変化

アメリカでは時間管理や規則遵守などが緩いと思っていましたが、意外とちゃんとしている人が多かったです。

■ ■これからの目標

グローバル展開している企業に就職したいと考えています。

8. 同じ大学へ留学する後輩へのメッセージ

「Global Education の先生や Global Ambassador がとても優しいので、ぜひ頼ってください。とても田舎で退屈することもあるので、趣味を楽しめる物(映画を観られる端末や Kindle など)を持ってくると良いと思います。」

9. 派遣先大学へのメッセージ

“Thank you for your support. I made a lot of great memories at Hartwick campus!”

■ ■JSAF のサポートについて

JSAF の出発前オリエンテーションは役に立ちました。注意点を細かく説明してもらえたため、自分で冊子を読むだけよりも分かりやすかったです。

本体験記は、JSAF 派遣生による 2024 年春・夏派遣 最終留学レポートをもとに再構成したものです。